



『2016 Winter Gathering & 留学生と交流する会』



▲司会の鮑辰さん(左)と、レーゴック・バオ・ヴィーさん(右)

第4回目となる年末恒例「Winter Gathering」は、2016年12月10日(土)午後「留学生と交流する会」との同時開催となりました。

『外国人が見た『カワサキ』フォトコンテスト』表彰式

受賞作品は、「川崎フロンターレ」試合での家族写真、秋の寺社、武蔵小杉の高層マンション群、多摩川沿いの景色、といった活気ある、魅力的な川崎が写し出された作品でした。出品作品は全部で45作品。どの作品も「かわさき」を再発見できる写真でした。



▲フォトコンテスト授賞式後

(左から：山田協会会長、青野リサチャンテールさん、Gilbert Kazuo Tibaさん、José Luis Ordenesさん、呉子菁さん、ケゼンガ エドワード ムウィンビ川崎市外国人市民代表者会議委員長)

	作品名	受賞者名	出身地
一席	We love KAWASAKI!	青野 リサ チャンテールさん	イギリス
二席	武蔵小杉で素晴らしい朝日1	ギルベルト カズオ ティバ Gilberto Kazuo Tiba さん	ブラジル
三席	La Puerta (門)	ホセ ルイス オルデネス José Luis Ordenes さん	チリ
審査員特別賞	自然の恵み	呉子菁さん	中国



世界の音楽・舞踏ステージ&交流

ステージは、川崎市内の留学生による演奏から。初恋をイメージしたオリジナル曲を披露した隋放さん(中国)、「枯葉」「ホワイトクリスマス」をアンサンブルで演奏した「シントリオ」の音楽で、会場はロマンティックな冬景色に包まれました。



アルゼンチン出身のコラソン・ラティーノさんの動きに合わせて踊る、日本でも人気急上昇中のフィットネスダンスや、NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)による凛々しい「よさこい踊り」では、参加者が次々に観客席から舞台に参加。文化と人が交流する熱いひとときとなりました。

そして、色とりどりの衣装で登場のフィリピン民族舞踏団「INRAYOG」。驚きの芸の数々に観客席から大拍手!最後には、舞台と観客席が一つになりバンブーダンスを楽しみました。

交流会

ブラジル、ベトナム、中国、ロシア、各国のお茶・コーヒーとお菓子を楽しみながら、鮮やかな色彩の民族衣装を試着・体験する人もあり、各国の文化を体感していました。

中国の切り絵では、あっという間に「囍」の赤い文字が出来上がり!! 「囍」は「双喜字」と呼ばれる縁起物。「喜び事が二倍にありますように」という意味の字で、中国の正月や結婚式には必ず飾られるものだそうです。参加者も多く、2017年がたくさん「喜」に包まれることを願っているようでした。

「2016 Winter Gathering & 留学生と交流する会」は会場が一体となり、エネルギーあふれる多文化の集いとなりました。一緒に踊り、笑い合い、さまざまな文化を体感した今回の集いは、参加者全員の記憶に残るでしょう。

(取材・文：編集ボランティア 相沢 明子)



◀中国の切り絵「囍」



▲行政書士の無料相談コーナー

SIGNAL 冬号
クイズの正解

- ①どこの国? 「中国」
- ②何を持ってた? 「弓」